

様式第 32 (附則第 10 条関係)

第一段階基準適合届出書

富士市長		殿		年	月	日	
		届出者					
		住所		(電話 )			
		氏名		_____			
設置者	住所						
	氏名						
設置場所							
タンクの呼称又は番号							
設置の許可申請年月日		年	月	日			
設置の許可年月日及び許可番号		年	月	日	第	号	
設置の完成検査年月日及び検査番号		年	月	日	第	号	
新基準適合届出の有無		有		・	無		
タンクの本体	側板とアニュラ板(底板)との溶接方法・形状		溶接方法		形状 適 ・ 否		
	側板	主荷重によって生ずる応力	円周方向引張応力	$\frac{N}{mm^2}$	円周方向引張許容応力	$\frac{N}{mm^2}$	
			軸方向圧縮応力	$\frac{N}{mm^2}$	軸方向圧縮許容応力	$\frac{N}{mm^2}$	
		主荷重及び従荷重によって生ずる応力	円周方向引張応力	$\frac{N}{mm^2}$	円周方向引張許容応力	$\frac{N}{mm^2}$	
			軸方向圧縮応力	$\frac{N}{mm^2}$	軸方向圧縮許容応力	$\frac{N}{mm^2}$	
	風荷重に対する安全性		適		・ 否		
	側板の厚さ		適		・ 否		
	アニュラ板	アニュラ板の厚さ等		適		・ 否	
	底板	底板の厚さ		適		・ 否	
	基礎・地盤	地盤の液状化対策		適		・ 否	
盛り土の構造・補強措置		適		・ 否			
※ 受付欄			※ 備考				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。  
 2 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。  
 3 「円周方向引張応力」及び「軸方向圧縮応力」に関しては、側板各段のうち許容応力との比が最も大きな段についてその値を記入すること。  
 4 ※印の欄は、記入しないこと。  
 5 第一段階基準の適合確認に用いた計算書、図面等を添付すること。